

—ISO/IEC 17043に基づく技能試験— 第23回ダイオキシン類分析(ばいじん)技能試験 参加試験所の募集

主催 (公社)日本分析化学会

協賛 (一社)日本環境測定分析協会

ダイオキシン類の分析は排水、フライアッシュ、土壌など広範囲にわたっています。その分析には高度で複雑な前処理や測定技術の知識・経験が必要とされ、最新の分析技術・技能情報が求められます。分析の信頼性向上のためには試験結果を常に他所の試験結果と比較し、その差異を究明して対策をとっていく必要があります。ISO/IEC 17043に基づく試験所間比較・技能試験は、そのようなニーズを満たすものです。

本会技能試験委員会では、2000年度より試験所間比較・技能試験を実施しています。参加試験所には標準物質と同様に均質な試験用試料をお送りします。分析結果を本会に返送されますと、参加試験所の測定結果を統計的に比較し、皆様の試験所の測定結果を全試験所と比較して評価し、報告書をお届けします。本試験に参加することにより、試験所のバイアスを把握でき、試験所の測定傾向や異状をいち早くキャッチでき、内部精度管理ではできない分析の信頼性向上を図ることができます。当技能試験では均質なばいじん試料を配布し、GCカラム条件などの分析技術情報なども報告書に掲載しますのでご利用いただけます。ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) による試験所認定を受審される場合は、このような試験所間比較・技能試験を受けていることが必須条件の一つになります。奮ってご参加ください。

日程 受験申込締切 : 7月16日(金)

技能試験用試料の配付 : 7月27日(火) 発送予定

分析結果の報告締切 : 10月15日(金) 必着厳守

中間報告書の発行送付 : 11月19日(金) 予定

最終報告書の発行送付 : 12月24日(金) 予定

対象事業所 ダイオキシン類分析を業務とするすべての試験所
目的 各社分析値の正確さの確認を通して分析技能の維持向上を図り、分析試験所認定へ向けての試験機関の技術レベルを確認するため。

分析試料 焼却炉ばいじん

結果報告の内容 参加試験所に対して、ISO/IEC 17043に規定する統計的手法による集計結果とその試験所の σ スコアを報告します。試験所名は記号で表示されます。したがって、自社の試験結果が全体のどこに位置するかを当事者のみが知ることができます。なお、本会が貴試験所提出データ及び試験結果情報を第三者に公開することはありません。最終報告書等に参加試験所名の一覧は掲載しません。ただし、最終報告書の内容は、他機関の要求に応じて、提供又は掲載することがあります。本会技能試験委員会が実施する当技能試験はISO/IEC 17043に従うものであり、試験所認定を受ける際にその旨評価されることが、試験所認定機関{(公財)日本適合性認定協会}との間で合意されています。

参加料(本体価格) 日本分析化学会団体会員 50,000円、協賛学協会会員 60,000円、会員外 75,000円(いずれも消費税別)。※会社、事業所単位での技能試験のため、本会団体会員または協賛学会に所属していない場合は、会員外扱いとなります(本会個人会員名義での申込については、会員扱いはいたしません)。

募集受付試験所数 200試験所

参加申込方法 日本分析化学会ホームページ (<http://www.jsac.jp>)→上方のMENU又は下方のクイックリンク「日本分析化学会の行事及び事業」→技能試験→「第23回ダイオキシン類分析技能試験参加申込」の申込用Excelファイルに必要事項をご記入のうえ、ホームページ上のここをクリック(申込サイト)を通じてお申し込みください。(1)試験所名

(参加証に記載する試験所名称にも使用しますので必要な場合は部署まで記載)、(2)連絡先(氏名、所属、所在地、郵便番号)、電話・FAX番号、E-mail)、(3)団体会員・会員外の別(団体会員番号を必ず記入)、(4)参加料金額を記入。

送金方法 参加申込をいただきますと、受領通知とともに請求書を送りますので、8月31日までに指定口座に参加料をお振り込みください。振込手数料は貴方でご負担ください。なお、参加料の返金はいたしませんので予めご了承ください。

問合せ先 上記の申込ができない場合や他のお問い合わせは下記へご連絡ください。

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 (公社)日本分析化学会技能試験事務局〔電話: 03-3490-3352, FAX: 03-3490-3572, E-mail: pro.test@jsac.or.jp〕

第26講「研究開発リーダー実務講座2021」 —企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは?— (オンラインによる講義)

主催 (一社)近畿化学協会

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部

期日 第1回:6月2日(水)、第2回:7月7日(水)、第3回:8月3日(火)、第4回:9月1日(水)、第5回:10月6日(水)、第6回:11月10日(水)の全6回、13.00~17.30(6/2のみ17.00)

開催方法 オンラインによる講義(「Zoom」を利用したライブ配信)

プログラム(各回終了後、グループディスカッション・交流会を予定)

5月24日(月)【本講座のガイダンス】

6月2日(水)第1回【研究開発リーダーのあり方】

1. コロナ時代のリーダーシップ

(ケルセジェン・ファーマ) 小野光則

7月7日(水)第2回【新規事業への挑戦とアントレプレナーシップ】

1. 富士フィルムの挑戦—第二の創業と化粧品事業の立ち上げ— (富士フィルム) 中村善貞

2. 科学技術イノベーション創出のためのアントレプレナーシップ (神戸大院経営) 忽那憲治

8月3日(火)第3回【人財を活かすマネジメント】

1. 研究開発マネジメントとダイバーシティ推進

(北海道大/元広栄化学) 西田まゆみ

2. 素材会社におけるイノベーションの追求とシェフ型研究者の育成 (三井化学) 諫山 滋

9月1日(水)第4回【産学連携と知財戦略】

1. 日本の産学連携を考える—知財実務家の視点—

(山本特許法律事務所) 山本秀策

2. 産学連携によるイノベーション創出

(神戸大院科学技術イノベ) 坂井貴行

10月6日(水)第5回【イノベーションと変革】

1. イノベーションを先導できる研究リーダーとは?

(医療基盤・健康・栄養研) 近藤裕郷

2. 「イノベーションの制約は何か」~TOC流イノベーションプロセス~ (Goldratt Japan) 岸良裕司

11月10日(水)第6回【ビジョンと独創的な製品開発】

1. 創業への情熱—睡眠薬ロゼレムの誕生秘話—

(東和薬品) 内川 治

参加費 主催団体所属会員 50,000円、協賛団体所属会員 60,000円、会員外 100,000円(オンライン配信価格、1名参加分、6回通し受講のみ、消費税込)

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (一社)近畿化学協会〔電話: 06-

6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: seminar@kinka.or.jp]

詳細はホームページをご参照ください。

<http://www.kinka.or.jp/event/2021/26leader.html>

第 38 回無機・分析化学コロキウム

主催 (公社)日本化学会東北支部

共催 (公社)日本分析化学会東北支部

期日 6月4日(金)・5日(土)

会場 東北大学川渡共同セミナーセンター〔宮城県大崎市, 交通: 陸羽東線「川渡温泉」駅よりタクシーにて約5分〕(コロナウィルス感染拡大の状況によってはオンライン開催)

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kawatabi/>

招待講演

1. 電流注入型有機半導体レーザーの開発 (東北大院理) 下谷秀和
2. エネルギーデバイス開発にむけた水素化物および窒化物薄膜の合成 (芝浦工大応化) 大口裕之
3. 強誘電体デバイスにおける薄膜プロセスの化学 (日大工) 高橋竜太
4. ファンデルワールス超構造の創発電子物性 (東大院工) 中野匡規

依頼講演

1. 二水素錯体の固相水素吸着 (東北大院理) 高石慎也
2. 高強度パルスミュオンによるミュオン触媒核融合反応過程の研究 (東北大院理) 奥津賢一
3. 四面体型金属中心キラル錯体 (東北大院理) 長田浩一
他に4件

参加費 一般5,000円, 学生3,000円(要旨集, 懇親会費および宿泊費を含む)。当日受付にて徴収いたします。

参加申込締切 定員(100名)になり次第, 締切といたします。

参加申込方法 氏名, 所属, 連絡先(電話, E-mail)を明記して, 下記宛にE-mailにてお申し込みください。

申込・問合せ先 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 化学系研究棟405 東北大学大学院理学研究科化学専攻 河底秀幸〔電話: 022-795-7727, E-mail: hideyuki.kawasoko.b7@tohoku.ac.jp〕

2021年度第15回日本分析化学会近畿支部 夏季セミナー～巻ノ拾伍～

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部

日本分析化学会近畿支部の夏の恒例行事「若手夏季セミナー」を大阪大学豊中キャンパスにて開催いたします。分析化学分野でご活躍される先生方(大学, 研究所, 企業所属)から普段の研究発表では聞けないお話を伺う予定です。また学生によるポスター発表や意見交換会などを通して, 学生から教員までの幅広い年代の交流を目的としています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

期日 7月31日(土)・8月1日(日)

会場 大阪大学豊中キャンパス南部陽一郎ホール(コロナ感染状況次第ではオンライン開催に変更)〔阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前」駅下車, 東へ徒歩約20分, 大阪モノレール「柴原阪大前」駅下車, 西へ徒歩約5分〕

プログラム

7月31日(土)

- 9.00 開場&受付
9.30~10.30 講演(特別講演)
10.30~10.40 休憩
10.40~11.40 学生 short oral 発表

12.00~13.00 昼食および休憩

13.30~14.10 講演(招待講演)

14.10~14.20 休憩

14.20~15.00 講演(招待講演)

15.10~16.40 ポスターおよび企業紹介

16.50~17.30 講演(招待講演)

18.00~20.00 意見交換会&記念撮影

8月1日(日)

9.30~ 開場&受付

10.00~10.40 講演(招待講演)

10.40~10.50 休憩

10.50~11.50 学生 short oral 発表

12.10~13.10 昼食および休憩

13.30~15.00 ポスターおよび企業展示

15.10~16.00 講演(招待講演)

16.10~ ポスター賞表彰&記念撮影&解散

参加費 一般5,000円(会員外7,000円), 学生2,500円(会員外5,000円)(予定)

定員 約80名(教員・一般20名, 学生60名)ただし, 発表件数は60名まで

申込締切 6月30日(水)

申込方法 参加を希望される方は, 近畿支部 HP (<http://www.bunkin.org/>) 掲載のセミナーページにある【参加申し込みフォーム】にて Web から申し込みください。自動返信メールが届きましたら, 7月10日までに参加費のお支払いをお願いいたします。参加費は銀行口座(りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No. 2340726, 名義: 公益社団法人日本分析化学会近畿支部)にお振込みください。

問合せ先 大阪大学 岡本行広〔okamoto@cheng.es.osaka-u.ac.jp〕

第 26 回高分子分析討論会 (高分子の分析及びキャラクタリゼーション) —研究発表募集—

主催 (公社)日本分析化学会高分子分析研究懇談会

高分子分析・特性解析全般に関する討論です。高分子分析は物性発現機構を解明し, 構造設計の指針を得る基盤であり, その重要な認識は高まっています。高分子分析・キャラクタリゼーションを対象とした本討論会の内容は, 化学的手法, 分光学的的手法, 各種クロマトグラフ法, 熱分析法などによる組成, 分子構造, 高次構造, 構造と物性の相関, 物性発現機構, 重合機構等の解析に関する基本原理, 手法開発, 解析実例などに及びます。発表形式(COVID-19の感染状況によって変更になる場合があります。)

討論を重視するため, 発表はすべてポスター発表のみとし, これに先立って2分半の口頭による概要説明を行います。このほかに特別講演を予定しています。優秀なポスターへの表彰を予定しております。

期日 10月28日(木)・29日(金)

会場 つくば国際会議場〔茨城県つくば市竹園2-20-3, 交通: つくばエクスプレス「つくば駅」徒歩10分, <http://www.epochal.or.jp/>〕

研究発表会申込方法

1. 発表内容には既発表のものを含んでいても構いません。また, 新しい試みであれば, 研究途中のものでも差し支えありません。
2. 高分子分析研究懇談会ホームページからお申し込みください。ホームページからの申し込みができない場合には, 下記に問い合わせてください。
3. 講演要旨執筆要領はホームページに掲載します。
4. ポスター発表のプログラム編成は実行委員会に一任願

ます。

発表申込締切 7月9日(金)

発表要旨締切 8月27日(金)

研究発表申込先 高分子分析研究懇談会ホームページ (<http://www.pacd.jp/>)

その他 発表者は第26回高分子分析討論会の参加登録もお願いいたします。

参加費

予約登録(10月7日締切)

一般:10,000円, 学生:2,000円

当日登録(10月7日以降)

一般:14,000円, 学生:3,000円

問合先 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
明治大学理工学部 応用化学科 本多貴之〔電話:044-934-7212, E-mail: pacd-touron@pacd.jp〕

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

日本アミノ酸学会第6回産官学連携シンポジウム アミノ酸科学リカレントと次世代研究への扉

主催 日本アミノ酸学会

期日 5月31日(月)

会場 オンライン開催

ホームページ <http://www.asas.or.jp/jsaas/>

連絡先 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町
フィナンシャルシティグランキューブ 協和発酵バイオ(株)内
日本アミノ酸学会第6回産官学連携シンポジウム事務局
〔電話:03-5205-7303, FAX:03-5205-7149, E-mail:
jsaas_sankangaku2020@kyowa-kirin.co.jp〕

界面コロイドラーニング

—第37回現代コロイド・界面化学基礎講座—

主催 (公社)日本化学会コロイドおよび界面化学部会

期日 6月3日(木)・4日(金)

会場 オンライン開催

ホームページ <https://colloid.csj.jp/category/seminar/>

連絡先 第37回現代コロイド・界面化学基礎講座事務局 (E-mail: jigyokukikaku_01@colloid.csj.jp)

日本膜学会第43年会

主催 日本膜学会

期日 6月4日(金)・5日(土)

会場 早稲田大学研究開発センターカンファレンスルーム, 現地開催およびオンライン開催を併用したハイブリッド方式

ホームページ <http://maku-jp.org/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-26-5-702 日本膜
学会事務局 (E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp)

第28回クロマトグラフィーシンポジウム

主催 クロマトグラフィー科学会

期日 6月10日(木)~11日(金)

会場 オンライン開催

ホームページ <https://www.chem.tokushima-u.ac.jp/B1/cs28/index.html>

連絡先 〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学
理工学部 応用化学システムコース内 第27回クロマトグラ
フィーシンポジウム事務局 高柳俊夫〔電話・FAX:088-
656-7409, E-mail: toshio.takayanagi@tokushima-u.ac.jp〕

プラズマ分光分析研究会第112回講演会

主催 プラズマ分光分析研究会

期日 6月25日(金)

会場 東京大学本郷キャンパス小柴ホール

ホームページ <https://plasma-dg.jp/>

連絡先 プラズマ分光分析研究会事務局 沖野晃俊〔電話・
FAX:045-924-5688, E-mail: office@plasma-dg.jp〕

第 31 回環境工学総合シンポジウム 2021

主催 (一社)日本機械学会
 期日 7月8日(木)・9日(金)
 会場 オンライン開催
 ホームページ <https://www.jsme.or.jp/event/21-14/>
 連絡先 〒106-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館
 5階 (一社)日本機械学会 環境工学部門〔電話:03-5360-3505, FAX:03-5360-3509, E-mail:kankyosympo2021@jsme.or.jp〕

第 49 回薄膜・表面物理セミナー (2021)

「量子コンピュータの現状とハードウェア研究最前線」

主催 (公社)応用物理学会薄膜・表面物理分科会
 期日 7月15日(木)
 会場 ウェブ開催
 ホームページ <https://annex.jsap.or.jp/tfspd/event/seminar/>
 連絡先 〒113-0031 東京都文京区根津1-21-5 応物会館2階 (公社)応用物理学会 分科会担当 五十嵐 周〔電話:03-3828-7723, FAX:03-3823-1810, E-mail:igarashi@jsap.or.jp〕

第 67 回ポーラログラフイーおよび電気分析化学討論会

主催 日本ポーラログラフ学会
 期日 10月28日(木)・29日(金)
 会場 金沢歌劇座
 ホームページ <http://www.polaro.jp/meeting.html>
 連絡先 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学・理工研究域物質化学系 分析化学研究室 日本ポーラログラフ学会 討論会理事 永谷広久〔E-mail:nagatani@se.kanazawa-u.ac.jp〕

「分析化学」 年間特集「省」の論文募集

「分析化学」編集委員会
 「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画しており、2022年度は「省」をテーマとすることと致しました。

世界の総人口は現在約78億人となり、人々が健康で豊かに暮らしていくためには、限られた資源を有効に活用することが不可欠です。また、誰もが高度な科学技術や医療技術の恩恵を受けられるよう工夫することは、持続可能な開発の理念に資する、転じて我が国の近現代史を顧みますと、少ない資源の元での効率の良い技術開発はお家芸と表現しても過言ではなく、分析化学の分野においても、新しい分析方法・技術の開発や改良を通して、複雑化・多様化した現代社会に大きく貢献しているところと見られます。

こうした背景から、本特集では「省」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「省」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の4・5号及びホームページをご参照ください。特集論文申込締切:2021年7月30日(金)(第1期) 特集論文原稿締切:2021年8月13日(金)(第1期)

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会
 「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号を企画しており、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載してきました。2021年度の分析化学討論会特集号では、「活力ある分析化学～持続と発展～」をテーマとしました。分析化学討論会にて発表を予定されている方々の論文を募集いたします。

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すことを目的とし、2015年に国連サミットにおいて、持続可能な開発目標SDGs 17が掲げられました。一方で、現在、我々は新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックに直面しています。また、本年は東日本大震災発生後10年にあたりますが、廃炉問題も含め、復興も道半ばの状況です。分析化学は、測る技術であると共に、数多くのデータの中から、原因を究明すると共に、問題解決の糸口を見出すことが可能な学問であり、課題克服に果たす役割は大きいものと期待されます。

このような現状に鑑み、人類の持続と発展に貢献することを目指した、分析化学における新しい方法論の提案や応用例を取り扱った論文を広く募集いたします。分析化学討論会にて発表を予定されている方々、ならびに本特集号のテーマに関わる研究をなされている方々からのご投稿をお待ちしております。

特集論文の申込締切:2021年7月9日(金)
 特集論文の原稿締切:2021年8月13日(金)

日本分析化学会標準物質についてのお知らせ

マグネシウム認証標準物質7種類の頒布開始

◇微量元素分析用 高純度マグネシウム認証標準物質
 [JAC 0141~JAC 0143 (ディスク状, 3種類)]

JIS H 2150に準拠したインゴットからピレットを作製し、押し出し加工により丸棒にし、ディスク状に切り出した標準物質で3~6元素を認証した。頒布本体価格:1ディスク

クで本会団体会員：40,000円、それ以外：60,000円。

◇汎用マグネシウム合金認証標準物質

[JAC 0151~JAC 0154 (ディスク状, 4種類)]

JIS H 4203に準拠したマグネシウム合金を連続鋳造で作製したピレットを押し出し加工により丸棒にし、ディスク状に切り出した標準物質でAl, Mn, Znを主成分に他3~7元素を認証した。頒布本体価格：1ディスクで本会団体会員：40,000円、それ以外：60,000円。

*頒布本体価格(送料込み、消費税別)について：上記7種類を1セット購入の場合、10%引きとします。

その他の標準物質については下記に示す。

認証標準物質の認証値については、多数の試験機関が参加した共同実験で得られた値を基に標準物質委員会が認証したものである。PT表示の標準物質はISO/IEC 17043に基づいて、技能試験で報告された多数の機関の分析値から求めた中央値を付与値として、標準物質委員会が認めたものである。試料の分析にあたり、本標準物質は併行して分析して得られた分析値を認証値と比較して分析値の妥当性を判断するときなどに用いる。

認証書などさらに詳しい情報は本会ホームページ (<https://www.jsac.jp>) をご覧ください。

◇有害金属成分化学分析用プラスチック認証標準物質 (Pb, Cd, Cr, Hg)

[JSAC 0601-3, JSAC 0602-3 (チップ状, 50g 瓶入り)]

RoHS規制対象成分の化学分析用の標準物質として開発した。プラスチックの材質はポリエステルである。頒布本体価格：50g 瓶入り各1本、本会団体会員：28,000円、それ以外：42,000円。

◇有害金属成分蛍光 X 線分析用プラスチック認証標準物質 (Pb, Cd, Cr)

[JSAC 0611-2~JSAC 0615-2 (ディスク状, 5枚箱入り)]

RoHS規制対象無機成分蛍光 X 線分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。Hgは添加せず、次に示す新たなHg専用標準物質を開発した。頒布本体価格：ディスク5枚入り1セット、本会団体会員：100,000円、それ以外：150,000円。

◇水銀成分蛍光 X 線分析用プラスチック認証標準物質 (Hg 専用)

[JSAC 0621~JSAC 0625 (ディスク状, 5枚箱入り)]

RoHS規制対象無機成分蛍光 X 線分析用として開発した。Hg含有率を5水準で認証したポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク5枚入り1セット、本会団体会員：70,000円、それ以外：105,000円。

◇有害金属成分蛍光 X 線分析用プラスチック標準物質 (Pb, Cd, Cr, Hg, Br)

[JSAC PT0631, JSAC PT0632 (ディスク状, 2枚箱入り)]

RoHS規制対象無機成分蛍光 X 線分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク2枚入り1セット、本会団体会員：30,000円、それ以外：45,000円。

◇ポリ臭化ジフェニルエーテル成分 (PBDEs) 化学分析用プラスチック認証標準物質

[JSAC 0641, JSAC 0642 (粉末状, 25g 瓶入り 2本組)]

RoHS規制の対象となる臭素系難燃剤のPBDEsの7成分と全Brを化学分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：25g 瓶入り各1本、2

本1組1セット、本会団体会員：95,000円、その他：130,000円。

◇臭素成分蛍光 X 線分析用プラスチック認証標準物質 (Br 専用)

[JSAC 0651~JSAC 0655 (ディスク状, 5枚箱入り)]

RoHS規制の対象となるプラスチック中のBrの蛍光 X 線分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク5枚入り1セット、本会団体会員：70,000円、それ以外：91,000円。

◇塩素の化学分析用プラスチック標準物質 (Cl 専用)

[JSAC PT0661-1~JSAC PT0651-3 (ディスク状)]

RoHS規制の対象となるプラスチック中のClの化学分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク1枚につき10,000円、ディスク2枚につき15,000円、ディスク3枚につき20,000円。

◇フタル酸エステル化学分析用プラスチック標準物質

[JSAC PT0671 (粒状, 3g 及び 10g 瓶入り)]

RoHS規制対象となったフタル酸エステル分析用として新しく開発した。プラスチックの材質はポリエチレン樹脂である。主要成分はDEHP, BBP, DBP, DIBP, DINP, DIDP及びDNOPである。頒布本体価格：3g 入り瓶1本につき、本会団体会員：50,000円、それ以外：75,000円。10g 入り瓶1本につき、本会団体会員：80,000円、それ以外：120,000円。

◇金属成分分析用土壌認証標準物質 (全量分析および環境省告示 H10 年 21 号対応)

[JSAC 0401, JSAC 0411 (粉末状, 50g 瓶入り)]

褐色森林土および火山灰土壌に含まれるCd, Pb, Cr, As, Se, Be, Cu, Zn, Ni, MnおよびVの11成分の含有率、溶出試験値を認証した標準物質である。頒布本体価格：50g 瓶入り1本につき本会団体会員：50,000円、それ以外：75,000円。

◇無機成分分析用土壌認証標準物質 (全含有率および環境省告示 H15 年 19 号対応)

[JSAC 0402-2 (粉末状, 60g 瓶入り, 新ロット)]

JSAC 0401に比べ高い濃度になるように褐色森林土に無機成分を添加調製したものである。土壌中のCd, Pb, As, 全Cr, Se, Cu, Zn, Ni, Mn, V, Hg, B, Fの13成分の全含有率と一部の成分の19号対応土壌含有量をそれぞれ認証した。頒布本体価格：60g 瓶入り1本につき本会団体会員：50,000円、それ以外：75,000円。

JSAC 0403 (粉末状, 50g 瓶入り) は好評のうち品切れとなりました。

◇有害金属成分分析用汚染土壌認証標準物質

[JSAC 0461 (低濃度) ~ JSAC 0466 (高濃度) (粉末状, 25g 瓶入り 6本組)]

工場跡地の再開発、土壌汚染調査などで土壌中の有害成分の分析のために、JSAC 0402, JSAC 0403に比べ更に高い濃度になるように褐色森林土にCd, Pb, As, Cr, Se, Hgの6成分の濃度を変えて添加調製した6種類のものである。頒布本体価格：25g 褐色瓶入り6種類を1セットで、本会団体会員：140,000円、それ以外：182,000円。

◇無機成分分析用河川水認証標準物質

[JSAC 0301-4a (無添加), JSAC 0302-4a (添加) (500 mL フッ素樹脂製瓶入り)]

新ロットを作製し、頒布を開始している。

河川水や類似したマトリックスをもつ水の無機成分分析における分析値の信頼性向上を目的に開発した。主要成分として、

Pb, Cr, Cd, As, Cu, Fe, Mn, Zn, B, Al, Mo, U, K, Na, Mg, Ca (Ni, Be は JSAC 0302-4a) の含有率を認証したものである。頒布本体価格：JSAC 0301-4a (無添加), JSAC 0302-4a (添加) 500 mL フッ素樹脂製瓶入り 2 本 1 組 1 セット、本会団体会員：50,000 円、その他：75,000 円。

◇農業成分分析用土壌認証標準物質 (シマジン, ディルドリン 全量分析および溶出試験対応)

[JSAC 0441 (シマジン—高濃度), JSAC 0442 (シマジン—低濃度) (粉末状, 60 g 瓶入り)]

農地および農地跡から採取した土壌中の残留農薬として、窒素系のシマジンと塩素系のディルドリンについてはその全量分析値を、また、シマジンについては溶出濃度 (H13 年環境庁告示 16 号) を認証した土壌標準物質である。シマジンは土壌環境基準 (溶出濃度) が定められているが、ディルドリンは現在環境基準の項目にない。頒布本体価格：60 g 瓶入り 1 本につき本会団体会員：25,000 円、それ以外：37,500 円。

◇無機成分分析用石炭灰認証標準物質

[JSAC 0521, JSAC 0522 (粉末状, 50 g 瓶入り, 2 本組)]

国内炭灰および外国炭灰の 2 種類からなり、主要成分として Si, Al, Fe, Na, K, Mg, Ca, P, Sr, Ti, C, S の 12 成分並びに微量成分の As, B, Be, Cd, Co, Cr, Cu, F, Hg, Mn, Ni, Pb, Se, V, Zn の 15 成分および強熱減量 (LOI) の含有率を認証したものである。頒布本体価格：50 g 入り褐色ガラス瓶 2 本 1 組 1 セット、本会団体会員：95,000 円、その他：130,000 円。

◇ダイオキシン類分析用フライアッシュ認証標準物質

[JSAC 0501 (高濃度), JSAC 0502 (低濃度) (粉末状, 50 g 瓶入り)]

都市ゴミ焼却炉の排煙集塵装置で捕集したフライアッシュ中のダイオキシン類成分の含有率を認証したものである。認証成分は、① 2, 3, 7, 8 位が塩素置換された四ないし八塩素化ジベンゾパラジオキシン (PCDDs) およびそのジベンゾフラン (PCDFs) の異性体 17 種、並びに PCDDs, PCDFs の同族体 10 種、②ダイオキシン様 PCBs (DLPCBs) の異性体 12 種、③ダイオキシン類合計と TEQ 換算値である。頒布本体価格：50 g 瓶入り 1 本につき本会団体会員：100,000 円、それ以外：150,000 円。

◇ダイオキシン類分析用焼却炉ばいじん認証標準物質

[JSAC 0511, JSAC 0512 (粉末状, 60 g 瓶入り)]

木くずを主とするごみ焼却炉から捕集したばいじん中のダイオキシン類すなわち、① PCDDs および PCDFs の異性体並びに同族体、② DLPCBs 異性体、③ダイオキシン類合計の成分含有率と TEQ 換算値を認証したものである。頒布本体価格：60 g 瓶入り各 1 本につき本会団体会員：50,000 円、それ以外：75,000 円。

◇ダイオキシン類分析用土壌認証標準物質

[JSAC 0421 (低濃度), JSAC 0422 (高濃度) (粉末状, 60 g 瓶入り)]

廃棄物焼却場付近山林の表層及び中層土壌中のダイオキシン類すなわち、① PCDDs および PCDFs の異性体並びに同族体、② DLPCBs 異性体および③ダイオキシン類合計の成分含有率と TEQ 換算値を認証したものである。頒布本体価格：60 g 瓶入り 1 本につき本会団体会員：100,000 円、それ以外：150,000 円。

◇ダイオキシン類・PCB 同族体分析用河川底質認証標準物質

[JSAC 0431 (低濃度), JSAC 0432 (高濃度) (粉末状, 60 g 瓶入り)]

河川で採取した底質中のダイオキシン類すなわち、①

PCDDs および PCDFs の異性体 17 種並びに同族体 10 種、② ジオルト体を除く DLPCBs 12 種、③ダイオキシン類合計の成分含有率のほか、④ PCDDs および PCDFs の 1~10 塩素化までの PCB 同族体合計の成分含有率と TEQ 換算値を認証したものである。頒布本体価格：60 g 瓶入り各 1 本につき本会団体会員：100,000 円、それ以外：150,000 円。

◇ダイオキシン類・PCB 同族体分析用海域底質認証標準物質

[JSAC 0451 (低濃度), JSAC 0452 (高濃度) (粉末状, 60 g 瓶入り)]

国内海域で採取した底質中のダイオキシン類すなわち、① PCDDs および PCDFs の異性体 17 種並びに同族体 10 種、② ジオルト体を除く DLPCBs 12 種、③ダイオキシン類合計の成分含有率のほか、④ PCDDs および PCDFs の 1~10 塩素化までの PCB 同族体合計の成分含有率と TEQ 換算値を認証したものである。頒布本体価格：60 g 瓶入り各 1 本につき本会団体会員：100,000 円、それ以外：150,000 円。

◇ダイオキシン類分析用模擬排水認証標準物質

[JSAC 0321-3 (3 L 瓶入り, 2 本組)]

極めて微細に粉碎したフライアッシュなどを水中に分散させて調製した模擬排水中のダイオキシン類すなわち、① PCDDs および PCDFs の異性体並びに同族体、② DLPCBs 異性体および③ダイオキシン類合計の成分含有率と TEQ 換算値を認証したものである。頒布本体価格：3 L 入り褐色ガラス瓶 2 本 1 組 1 セットで、本会団体会員：50,000 円、それ以外：75,000 円。

◇微量酸素分析用鉄鋼認証標準物質

[JSAC 0111 (円柱状, 1 個瓶入り)]

表面の付着酸素を除く微量酸素の含有率を認証した鉄鋼 (軸受け鋼) 標準物質であり、認証値の決定は表面酸素の影響を受けない基準分析法としての荷電粒子放射分析法によった。頒布本体価格：瓶入り 1 個で本会団体会員：15,000 円、それ以外：22,500 円。

◇微量金属成分分析用アルミニウム認証標準物質

[JSAC 0121-B (角状, 1 個瓶入り), JSAC 0121-C (チップ状, 50 g 袋入り)]

高純度アルミニウムに微量の元素を添加して調製した標準物質で、Si, Fe, Cu, Mn, Mg, Zn, Ti, Cr, Zr および B の 10 元素の含有率を認証している。頒布本体価格：各形状とも本会団体会員：12,000 円、それ以外：18,000 円。

◇金属成分蛍光 X 線分析用鉛フリーはんだ認証標準物質

[JSAC 0131~JSAC 0134 (ディスク状, 4 枚箱入り)]

RoHS 規制対応および電気・電子部品などはんだ付け工程の品質管理を目的に開発した。材質は Sn-Ag-Cu 系のはんだで、Pb, Cd, Ag, Cu の含有率を変えた 4 水準 1 組となっている。頒布本体価格：ディスク 4 枚入り 1 セット、本会団体会員：150,000 円、その他：195,000 円。

◇LSI 用二酸化ケイ素認証標準物質

[JAC 0011~JAC 0013 (粉末状, 75 g 瓶入り 3 本組)]

高純度非晶質二酸化ケイ素粒子に U および Th 溶液を含浸させ、乾燥、焼成して調製したもので、LSI 関連材料中に微量に含まれる U および Th 成分の分析に用いるものである。頒布本体価格：1 セットで本会団体会員：150,000 円、それ以外：200,000 円。

◇LSI 用高純度アルミニウム認証標準物質

[JAC 0021~JAC 0023 (片状, ピン状, 角状ごとの 3 組)]

高純度アルミニウムを融解して調製したもので、LSI 関連材

料中に微量に含まれる U および Th 成分の分析に用いる標準物質で、U および Th の含有率は 3 水準である。頒布本体価格：1 セットで本会団体会員：150,000 円、それ以外：200,000 円。

◇栄養成分等分析用粉乳標準物質

JSAC PT0711-4 は好評のうち品切れとなりました。当標準物質の頒布は中止します。

◇栄養成分等分析用魚肉ソーセージ標準物質

JSAC PT0721-4 は好評のうち品切れとなりました。当標準物質の頒布は中止します。

申込方法 希望標準物質名（製品番号も明記）、申込者氏名、送付先（郵便番号、住所、所属、電話番号）、団体会員・それ以外の別（団体会員の場合は会員 ID）、数量・料金、請求書宛名を明記のうえ、下記にお申し込みください。なお、本体価格は送料込み、消費税別です。

申込及び問合せ先 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-12-7 (RBM 芝パークビル) 西進商事(株)東京支店〔電話：03-3459-7491, FAX：03-3459-7499, E-mail: info@seishinsyoji.co.jp, URL: http://www.seishinsyoji.co.jp/〕

技術的な問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号 (公社)日本分析化学会 標準物質委員会 事務局〔電話：03-3490-3352, FAX：03-3490-3572, E-mail: crmpt@ml.jsac.or.jp, URL: https://www.jsac.jp/〕

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析するには、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解

説記事

- 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail: bunseki@jsac.or.jp]

「分析化学産業技術論文賞」のご案内

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2019年に「分析化学産業技術論文賞」を設けました。独創的であり、実用的な分析技術や測定機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められる論文を選定し、表彰することといたしました。企業技術を周知する場としても活用して頂けるかと思っておりますので、奮ってご投稿ください。また、国内における科学技術の国際競争力強化のため産学連携が推進されています。その研究成果を企業の視点からご投稿ください。若手研究者のご投稿もお待ちしております。詳細は「分析化学」誌ホームページをご参照ください。

表彰対象論文：1) 独創的であり、実用的な分析技術や機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められた論文。2) 企業あるいは公設試験研究機関に所属する者が筆頭著者あるいは連絡代表者である論文。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.or.jp です。原稿の長さには制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月 25 日（例：1 月号掲載→11 月 25 日締切）となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましても共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましても、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋 (共催)

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。

9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。
(後援又は協賛)
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌ではこれまで著者の方々に別刷の購入をお願いしてまいりましたが、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することにいたしました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P : 印刷ページ数) (単位: 円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

* 上記に消費税がかかります。

「Analytical Sciences」別刷頒布価格のお知らせ

「Analytical Sciences」掲載の投稿論文の別刷頒布価格は下記のとおりです。

1. 頒布部数: 50部を最小単位とし、以降50部単位で頒布します。
2. 価格: 次の計算式に従って算出された値 (円)。
 $20000 + 2500 \times p + 25 \times p \times (n - 50)$
 但し、 p は掲載論文の印刷ページ数で、奇数の場合には1を加えた値、 n は別刷希望部数。
3. 消費税10%がかかりますので、ご了承ください。

お知らせ

日本分析化学会第70年会 —講演募集—

標記年会を9月22日(水)から24日(金)の日程でオンラインにて開催します。講演申込及び講演要旨の提出(入力)にはオンライン登録システム(Web)を使用します。郵送、FAX及び電子メールでの受付は一切行いません。本年会では、一般講演(口頭、ポスター)、若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、産業界R&D紹介講演(ポスター)を設けましたので、以下の各事項を熟読のうえ、講演申込登録締切日時までにオンライン登録システムによりお申し込みください。なお、講演申込等の詳細は第70年会ホームページ(以下、年会HPと略す)を参照ください。

【日本分析化学会第70年会ホームページ】

<https://conference.jsac.jp/70nenkai/>

【講演申込スケジュール】

- ・講演申込登録開始日時：4月30日(金) 14時
- ご注意ください！ 個人会員登録が済んだ方しか入力できません。**
- 個人会員登録は入会申込書郵送とオンライン登録の二通りの方法があります。郵送の場合は手続完了まで2週間程度を要します。オンライン登録の場合は仮会員IDが即時発行されます。仮会員IDと仮会員IDが通知されたメールアドレスで入力可能になります。
- ・講演申込登録締切日時：6月16日(水) 14時(厳守)
 - ・要旨本文入力締切日時：7月14日(水) 14時(厳守)

主催 (公社)日本分析化学会

会期 2021年9月22日(水)～24日(金)

日程 9月22日(水)：一般講演(口頭、ポスター)、若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、受賞講演、研究懇談会講演、ランチタイムオンラインセミナー、展示会
9月23日(木)：一般講演(口頭、ポスター)、若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、産業界R&D紹介講演(ポスター)、受賞講演、研究懇談会講演、学会賞受賞講演、ランチタイムオンラインセミナー、展示会
9月24日(金)：一般講演(口頭、ポスター)、若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭、ポスター)、受賞講演、研究懇談会講演、ランチタイムオンラインセミナー、展示会、オンライン交流会

注) 日程は変更する場合があります。

会場 Webを利用したオンライン開催

オンライン交流会 年会全日程終了後の9月24日(金) 18時～20時(予定)。第2日(23日)ではありませんのでご注意ください。

募集発表形式 01：一般講演(口頭)、02：一般講演(ポスター)、03：若手講演(ポスター)、04：テクノレビュー講演(口頭)、05：テクノレビュー講演(ポスター)、06：産業界R&D紹介講演(ポスター)です。

講演分類一覧 別記を参照ください。

講演申込要項

本年会に講演申込を行うにあたり、下記の各事項をあらかじめご承諾願います。

- 講演時間は、一般講演(口頭)は15分(講演12分、討論3分)です。テクノレビュー講演(口頭)は30分(講演25分、討論5分)で行います。すべてのポスター発表の時間は60分を予定しています。若手講演(ポスター)、テクノレビュー講演(口頭・ポスター)の応募の詳細は別記を参照ください。プログラム編成の結果、講演時間を変更することがあります。
- 講演する人(登壇者)は、講演申込時点において日本分析化学会の個人会員(正会員、学生会員)であること(ただし、一部の研究懇談会講演、テクノレビュー講演は除く)。会員は2021年会費が納入済みであること。個人会員以外で講演を希望する方は、下記の学会HPの入会案内のページからオンライン入会手続き(入会希望日を2021年1月または7月とする)を済ませたうえで、講演申込をすること。入会申込用紙に記載して事務局に郵送する場合には、2021年6月2日(水)必着で郵送すること。
https://www.jsac.jp/kaiin/nyuukai_annai/
なお、講演者(登壇者)は別途本年会への参加申込登録をしないと講演発表ができません。詳細は年会HPを参照してください。
- 同一演題で発表形式を変えて(例えば口頭とポスター発表)重複講演することは認めません。
- 関連ある複数の講演(口頭発表に限る)を連続して発表したい場合(一連発表)は、講演申込締切までに発表順序を登録してください。但し、発表形式、講演分類が一致している場合に限りです。講演日及び講演時間の指定は一切受け付けません。なお、希望にそえない場合もあるので、最終決定は実行委員会に一任してください。

5. 発表内容等については、あらかじめ講演申込者の責任で関係機関及び連名者の同意を得てから講演申込を行ってください。発表内容等について問題が生じた場合でも、実行委員会、学会事務局、年会ヘルプデスクは一切の責任を負いません。
6. 発表形式・講演分類の変更、講演日の決定、講演時間の調整など、プログラム編成に関する事項は、すべて実行委員会に一任してください。
7. プログラム編成の都合で、口頭発表をポスター発表に変更する場合、またはその逆の場合は、事前に実行委員会より連絡します。

講演申込方法 Web申込に限ります。年会HPの「Web申込 要旨本文登録方法」や「図表作成の手引き」を熟読のうえ、講演申込登録及び要旨本文の入力を行ってください。郵送、FAX及び電子メールでの申込は一切受け付けません。講演申込登録締切日時を過ぎてのWeb上からの入力はできません。申込者のコンピュータ環境（ネットワーク環境を含む）が原因で講演申込の登録に不備をきたしても、実行委員会、学会事務局、年会ヘルプデスクは一切責任を負いません。講演申込に関する緊急情報や変更点などのお知らせ、講演申込システム等の障害情報は速報性を考慮してすべて年会HPに掲載しますので、適宜ご覧ください。

【講演申込等スケジュール】

講演申込締切日時：6月16日（水）14時（厳守）

注）登録締切日時までは講演申込内容の修正、要旨本文入力・修正、画像アップロードが可能です。

要旨本文入力開始日時：6月21日（月）

注）講演要旨本文および画像アップロードが可能です。講演申込内容の修正はできません。

要旨本文入力締切日時：7月14日（水）14時（厳守）

【若手講演（ポスター）募集】

主催 日本分析化学会第70年会実行委員会

共催 全国若手交流会

趣旨 分析化学は自然科学において重要な役割を果たすとともに、産業における技術革新の基盤となっています。その一方で、社会において分析化学の重要性を十分に認識してもらうには自らの情報発信が不可欠です。本企画では、分析化学の将来を担う学生及び若手研究者の方々に、自らの研究成果をアピールし、情報交換ならびに交流を深めていただきます。発表形式はポスター発表です。ポスター発表に関しては従来通り、若手講演ポスター賞を選出いたします。奮ってご応募ください。

講演形式 Web上の仮想ポスター発表会場における60分のポスター発表形式

募集対象 本会の学生・個人会員（概ね30歳まで）。

※非会員は発表できません。

講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン(Web)上からお申し込みください。「発表形式」の欄で

“03:若手講演(ポスター)”を選択してください。講演申込・講演要旨入力はすべて本年会の講演申込・要旨入力等の緒規則に準じます。講演申込締切後の発表形式の変更はできません。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【テクノレビュー講演募集】

主催 日本分析化学会第70年会実行委員会

期日 9月22日（水）～24日（金）

会場 Webを利用したオンライン開催

講演形式 口頭発表またはポスター発表。口頭発表は30分（講演25分、討論5分）、ポスター発表は60分の予定です。講演要旨はWeb版講演要旨集に掲載します。

講演料 口頭発表：1件50,000円、ポスター発表：1件30,000円。講演料には発表者の参加登録料1名分が含まれます。

講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン(Web)上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“04:テクノレビュー講演(口頭)”または“05:テクノレビュー講演(ポスター)”を選択してください。登壇者が会員外の場合には、年会ヘルプデスクまでご連絡ください。確認後ヘルプデスクよりIDを発行いたします。講演申込・講演要旨入力方法はすべて本年会の講演申込・要旨入力等の諸規則に準じます。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【産業界R&D紹介講演（ポスター）募集】

主催 （公社）日本分析化学会・「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会

趣旨 産業界の分析部門間及び産官学の交流・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 9月23日（木）の午後を予定

会場 Webを利用したオンライン開催

講演形式 すべてWeb上の仮想ポスター発表会場におけるポスター発表形式。講演時間は60分の予定です。講演要旨は要旨集に掲載します。

募集対象 産業界で活躍されている研究者、技術者（本会維持会員または正会員に限る）。但し、維持会員企業資格での申し込みは1件に限ります。

講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン(Web)上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、“06:産業界R&D紹介講演(ポスター)”を選択してください。講演申込・講演要旨入力はすべて本年会の講演申込・要旨入力等の緒規則に準じます。維持会員として講演申込をされる方は、別途仮ID、パスワードの登録が必要です。事前に年会ヘルプデスクまでご連絡ください。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【展示会・ランチタイムオンラインセミナー・バナー広告募集】

分析・計測機器関連メーカー・販売会社、分析技術提供会社、関連書籍出版社・販売者等と年会参加者の相互交流・情報交換の場として、オンラインでの機器・カタログの展示会を開催します。また、年会期間中の昼休みを利用してランチタイムオンラインセミナーを開催します。応募の詳細は年会HPを参照ください。

【展示会】

展示会公開期間 (予定) 8月23日(月)～2ヶ月

公開場所 (予定) 年会HP

展示費用 (予定) 1枠 50,000円(税別)

締切日 (予定) 7月22日(木)

【ランチタイムオンラインセミナー】

開催形式 会議システム利用のオンラインセミナー

日時 (予定) 9月22日(水)～24日(金) 12:10～12:50

開催費用 (予定) 1枠 50,000円(税別)

締切日 (予定) 8月31日(火)

【バナー広告】

公開場所 年会HP

掲載期間 (予定) 5月～9月

掲載料金 (予定) 1枠:5月～9月 50,000円,
7月～9月 30,000円(いずれも税別)

問合せ先・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4(友野本社ビル)㈱明報社(担当:後藤) [電話:03-3546-1337, FAX:03-3546-6306]

E-mail: info@meihosha.co.jp

*申込方法および詳細は㈱明報社にお問い合わせください。

【第70年会参加登録について】

本年会に参加する場合には、全員参加登録をさせていただきます。また、研究発表の登壇者は年会への参加申込登録をしないと講演発表ができませんので、必ず参加登録をしてください(一部の研究懇談会、テクノロジーの講演者を除く)。参加申込方法の詳細は年会HP及び「ぶんせき」誌7月号に掲載いたします。参加登録料などは以下の通りです。

参加登録料

1. 参加登録料 予約:会員9,000円,学生会員3,000円,会員外16,000円,会員外学生5,000円

[予約外:会員12,000円,学生会員4,500円,会員外18,000円,会員外学生6,000円]

注) 会員には団体会員(維持会員)に所属する方を含みますが、特別会員および公益会員の場合は、1名に限り会員扱いとなります。

2. オンライン交流会(懇親会) 参加登録者は、無料で参加できます。

※ご注意 会員の方の参加登録料は不課税扱いです。会員外, 会員外学生は税込金額です。

【Web版講演要旨集の発行日について】

第70年会Web版講演要旨集の発行日は、2021年9月8日です。特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、公益社団法人日本分析化学会に帰属します。

【その他事項】

講演プログラム速報版は年会HPに7月下旬までに掲載予定です。

【講演分類一覧】

- 01: 原子スペクトル分析 (ICP-MSを含む)
- 02: 分子スペクトル分析 (吸光分析法, 蛍光・リン光分析法, 赤外・ラマン分析法, 表面プラズモン共鳴など)
- 03: レーザー分光分析 (顕微分光, レーザー励起発光, 光熱変換分光, 非線形分光など)
- 04: X線分析・電子分光分析
- 05: 放射線計測による分析
- 06: 磁場を利用した分析 (NMR, ESRなど)
- 07: 電気化学分析
- 08: センサー, センシングシステム
- 09: 熱分析
- 10: 有機微量分析 (元素分析を含む)
- 11: 質量分析 (イオン化法を含む)
- 12: マイクロ分析系 (マイクロチップ, マイクロ分離システム, 一分子検出系など)
- 13: フローインジェクション分析
- 14: 液体クロマトグラフィー (LC/MSを含む)
- 15: ガスクロマトグラフィー (GC/MSを含む)
- 16: 電気泳動分析 (キャピラリー電気泳動など)
- 17: 溶媒抽出法, 固相抽出法, イオン交換系
- 18: 分離・分析試薬の設計
- 19: 分析化学反応基礎論 (平衡論, 速度論など)
- 20: データ処理理論 (AI, ケモメトリックスなど)
- 21: 標準試料
- 22: サンプリング, 前処理
- 23: 界面分析 (液液系, 固液系, 気液系, 気固系, 液滴など)
- 24: 微粒子分析および微粒子利用分析 (ナノ粒子など)
- 25: 宇宙・地球に関する分析化学 (天体, 大気, 河川・湖水・海洋, 土壌など)
- 26: 環境関連分析 (環境汚染物質, 環境放射能, 粉じん, SPM, 生体影響物質など)
- 27: 無機・金属材料分析
- 28: 電池・エネルギー材料 (電池材料, 燃料電池材料, バイオマスなど)
- 29: 有機・高分子材料分析 (有機・無機複合体材料を含む)
- 30: 食品・農作物・ヘルスケア等分析 (野菜, 畜

- 産，食品添加物など，遺伝子組換，農薬，化粧品，サプリメントを含む)
- 31：バイオ分析（プロテオーム解析，メタボローム解析，再生医療にかかわる分析（細胞，培地，足場材，医療用材料）を含む)
- 32：バイオイメージング
- 33：医薬分析（不純物，ドーピング，代謝物（ADME），バイオ医薬など）
- 34：臨床分析（法科学分析，POCT，医療用センサ，*in vivo*計測，バイオマーカーを含む）
- 35：企業における分析解析活用と課題解決への適用
- 36：その他

【各種お問い合わせ先】

1. 学会事務局

会員登録情報の変更，会員ID・パスワード及び年会全般に関する質問は公益社団法人日本分析化学会事務局へお問い合わせください。

公益社団法人日本分析化学会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304

E-mail online@jsac.or.jp

電話：03-3490-3351（夜間，土日，祝日を除く）

2. 年会ヘルプデスク

講演申込などWebシステム，参加費納入に関する質問は第70年会ヘルプデスクへお問い合わせください。

第70年会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

(株)国際文献社内

E-mail: jsac-desk@bunken.co.jp

電話：03-6824-9368

注) 電話対応時間は土日，祝日を除く営業日の9時～12時，13時～17時です。

3. 実行委員会

オンライン講演，プログラムに関する質問は実行委員会へお問い合わせください。

第70年会実行委員会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学環境保全推進センター内

事務局長 牧 秀志

E-mail: maki@kobe-u.ac.jp